

科	コース		年次								対象	備考 ①概要、②研修内容(専門医、大学院)等、③所属・身分、④研修協力病院、⑤専門医取得、⑥連絡先	
	番号	名称	3	4	5	6	7	8	9	10			11以降
麻酔科 (麻酔・侵襲制御医学)	Ⅲ-0301	学位取得基礎研究コース (募集人数2名)	大学院 4年目終了時点で麻酔科標榜医および日本麻酔科学会認定医 6年目：日本麻酔科学会認定医 博士号取得					専攻研修(大学病院) 麻酔と集中治療 日本麻酔科学会専門医資格取得および日本集中治療医学会専門医		大学病院にて臨床および研究の指導希望により留学(海外・国内) 日本麻酔科学会指導医受験準備(大学病院ほか、受験資格は専門医取得5年日以降となる)		初期研修 2年修了者	①大学院にて学位を取得し、臨床研修も行い、麻酔と集中治療の専門医の資格を取得する。 ②週2日以上の研究日を設け、それ以外は手術麻酔、集中治療を含めた臨床研修を行う。大学院の4年間は学年が上がるごとに臨床研修主体から研究主体へと比重を増していく。 研究は臨床と基礎をつなぐトランスレーショナルリサーチ「橋渡し研究」を主体とし、基礎研究を通じて、学問的エビデンスに基づいた患者の病態解明を行うとともに、医学者としての診断と治療能力を養う。研究手技は、当講座の講師がマンツーマンで指導し、国内・国外の共同研究施設でも取得していく。 学位、専門医習得後には希望により留学も可能である。 ③大学院は社会人大学院も可能。大学院修了学位取得者は助教・講師(ともに定員外含む) ④海外留学先：米国ハーバード大学、カナダトロント大学など ⑤麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医、同専門医、日本集中治療医学会専門医 ⑥連絡先：麻酔・侵襲制御医学講座 西田 修(教授)(Tel:0562-93-9008, 2378, Fax:0562-95-0080, E-mail:nishida@fujita-hu.ac.jp)
	Ⅲ-0302	麻酔・集中治療一般コース (募集人数5名)	手術麻酔と集中治療を通して、外科系内科系にとらわれない幅広い全身管理を指導医のもとに習得。 4年目終了時点で麻酔科標榜医および日本麻酔科学会認定医 6年目：日本麻酔科学会専門医試験受験 (本コースにおいては、研修年度を暫定的に2年間とし、麻酔科標榜医および日本麻酔科学会認定医のみの取得を目指すことも可能)							同上		初期研修 2年修了者	①手術麻酔、集中治療を総合的に行う。麻酔と集中治療の専門医の資格を取得する。 ②単に手術麻酔のみでなく、集中治療を含めた重症患者管理を幅広く経験することで、一貫した全身管理を修得する。手術麻酔は当院の症例数の多さを生かし、心臓血管、移植、小児、ハイリスク症例など幅広く研修を行う。集中治療に関しては、ハイリスク術後、敗血症、小児、移植など豊富な症例を全般的に研修を行う。 当コースで1年以上の経験ののち、希望によって下記4～9の専門分野修得コースへの変更も可能である。 また、臨床のみならず臨床研究も積極的に行うことができる。論文による学位取得も可能である。専門医取得後には希望により留学が可能である。 ③定員外助手・助教、学位取得者は助教・講師(ともに定員外含む) ④海外：ハーバード大学、トロント大学、カリフォルニア大学など 国内：山梨大学救急・集中治療医学講座、東京医科大学八王子医療センター、日本大学医学部附属板橋病院など ⑤麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医、同専門医、同指導医、日本集中治療医学会専門医、日本静脈経腸栄養学会認定医、日本化学療法医学会抗菌化学療法認定医・指導医、ICD制度協議会認定ICD ⑥連絡先：同上
麻酔科	Ⅲ-0303	麻酔一般コース (募集人数5名)	手術麻酔を中心とした全身管理を指導医のもとに研修。(大学病院) 4年目終了時点で麻酔科標榜医および日本麻酔科学会認定医 6年目：日本麻酔科学会専門医試験受験 (本コースにおいては、研修年度を暫定的に2年間とし、麻酔科標榜医および日本麻酔科学会認定医のみの取得を目指すことも可能)					手術麻酔 専攻研修(大学病院) 日本麻酔科学会専門医資格取得 (および日本集中治療医学会専門医)		同上		初期研修 2年修了者	①手術麻酔を総合的に行う。麻酔(と集中治療医)の専門医の資格を取得する。 ②手術麻酔を中心に臨床研修を行う。手術麻酔は当院の症例数の多さを生かし、心臓血管、移植、小児、ハイリスク症例など幅広く研修を行うことができる。希望があれば集中治療の研修も可能である。 当コースで1年以上の経験ののち、希望によって下記4～9の専門分野修得コースへの変更も可能である。 また、臨床のみならず臨床研究も積極的に行うことができる。論文による学位取得も可能である。専門医取得後には希望により留学が可能である。 ③定員外助手・助教、学位取得者は助教・講師(ともに定員外含む) ④海外：ハーバード大学、トロント大学など 国内：東京医科大学八王子医療センター、日本大学医学部附属板橋病院など ⑤麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医、同専門医、同指導医、(日本集中治療医学会専門医) ⑥連絡先：同上

科	コース		年次								対象	備考 ①概要、②研修内容(専門医、大学院)等、③所属・身分、④研修協力病院、⑤専門医取得、⑥連絡先	
	番号	名称	3	4	5	6	7	8	9	10			11以降
麻酔科	Ⅲ-0304	心臓周術期管理修得コース (募集人数2名)	麻酔・集中治療一般コース あるいは 麻酔一般コース	心臓麻酔および術後管理を中心に全身管理を指導医のもとに研修。(大学病院) 4年目以降: JB-POT試験受験 4年目終了時点で麻酔科標榜医および日本麻酔科学会認定医 6年目: 日本麻酔科学会専門医試験受験	専攻研修 (大学病院) 日本麻酔科学会専門医資格取得および日本集中治療医学会専門医							同上	①心臓手術の周術期管理を中心に麻酔、集中治療の研修を行う。JB-POT(日本周術期経食道心エコー)認定医および麻酔(希望があれば集中治療)の専門医の資格を取得する。 ②週2回以上の心臓血管麻酔および、術後管理の研修を行うとともに、一般的な手術麻酔、集中治療も総合的に行う。また、臨床研究も積極的に行うことができる。論文による学位取得も可能である。専門医取得後には希望により留学が可能である。 ③定員外助手・助教、学位取得者は助教・講師(ともに定員外含む) ④海外: ハーバード大学、トロント大学、カリフォルニア大学など ⑤国内: 東京医科大学八王子医療センターなど ⑥麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医、同専門医、同指導医、日本集中治療医学会専門医、JB-POT、日本化学療法医学会抗菌化学療法認定医・指導医、ICD制度協議会認定ICD ⑦連絡先: 同上
麻酔科	Ⅲ-0305	小児集中治療・周術期管理修得コース (募集人数2名)	麻酔・集中治療一般コース あるいは 麻酔一般コース	小児麻酔および術後管理を中心に全身管理を指導医のもとに研修。(大学病院) 4年目以降: JB-POT試験受験 4年目終了時点で麻酔科標榜医および日本麻酔科学会認定医 6年目: 日本麻酔科学会専門医試験受験	専攻研修 (大学病院) 日本麻酔科学会専門医資格取得および日本集中治療医学会専門医							同上	①小児手術症例の周術期管理と非手術症例を含めた小児集中治療の臨床研修を主体に研修を行う。麻酔(希望があれば集中治療)の専門医の資格を取得する。 ②週2回以上の小児麻酔および、術後管理を含めた小児集中治療の研修を行う。臨床研究も積極的に行うことができる。論文による学位取得も可能である。専門医取得後には希望により留学が可能である。 ③定員外助手・助教、学位取得者は助教・講師(ともに定員外含む) ④海外: ハーバード大学、トロント大学など ⑤国内: 東京医科大学八王子医療センターなど ⑥麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医、同専門医、同指導医、日本集中治療医学会専門医、日本化学療法医学会抗菌化学療法認定医・指導医、ICD制度協議会認定ICD ⑦連絡先: 同上
麻酔科	Ⅲ-0306	ペインクリニック修得コース (募集人数2名)	麻酔・集中治療一般コース あるいは 麻酔一般コース	ペインクリニックを中心に全身管理を指導医のもとに研修。(大学病院) 4年目終了時点で麻酔科標榜医および日本麻酔科学会認定医 6年目: 日本麻酔科学会専門医試験受験およびペインクリニック学会専門医受験	専攻研修 (大学病院) 日本麻酔科学会専門医資格取得および日本集中治療医学会専門医 ペインクリニック学会専門医							同上	①ペインクリニックを中心として臨床研修を行う。ペインクリニック学会認定医および麻酔(希望があれば集中治療)の専門医の資格を取得する。 ②週2回以上のペインクリニック外来および入院患者の術後疼痛管理の研修を行うとともに、一般的な手術麻酔(希望があれば集中治療)をも行う。各種神経ブロック、硬膜外ブロック、末梢神経ブロック、透視下ブロック、東洋医学、鍼灸、漢方等の研修を行うことが可能である。また、臨床研究も積極的に行うことができる。論文による学位取得も可能である。専門医取得後には希望により留学が可能である。 ③定員外助手・助教、学位取得者は助教・講師(ともに定員外含む) ④海外: ハーバード大学、トロント大学など ⑤ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医、麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医、同専門医、同指導医、(日本集中治療医学会専門医) ⑥連絡先: 同上
麻酔科	Ⅲ-0307	呼吸・集中治療修得コース (募集人数2名)	麻酔・集中治療一般コース	各種呼吸管理を中心に全身管理を指導医のもとに研修。(大学病院) 4年目終了時点で麻酔科標榜医および日本麻酔科学会認定医 6年目: 日本麻酔科学会専門医試験受験および日本集中治療医学会専門医試験受験、日本呼吸療法医学会専門医試験受験	専攻研修 (大学病院) 日本麻酔科学会専門医資格取得および日本集中治療医学会専門医 日本呼吸療法医学会専門医							同上	①集中治療を総合的に行いながら、呼吸管理およびV-V ECMO(Extracorporeal membrane oxygenation)の管理を重点的に研修する。呼吸療法医学会専門医、麻酔および集中治療の専門医の資格を取得する。 ②一般的な(麻酔)集中治療管理に加え、重症症例に対する高度な人工呼吸管理、NPPV(Non-invasive Positive Pressure Ventilation)、nasal high flow therapyなどの各種呼吸管理に重点をおいた研修を行う。また、臨床研究も積極的に行うことができる。論文による学位取得も可能である。専門医取得後には希望により留学が可能である。 ③定員外助手・助教、学位取得者は助教・講師(ともに定員外含む) ④海外: ハーバード大学、トロント大学、カリフォルニア大学など ⑤国内: 山梨大学救急・集中治療医学講座、東京医科大学八王子医療センターなど ⑥日本呼吸療法医学会認定医、麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医、同専門医、同指導医、日本集中治療医学会専門医、日本化学療法医学会抗菌化学療法認定医・指導医、ICD制度協議会認定ICD ⑦連絡先: 同上
麻酔科	Ⅲ-0308	体外循環・集中治療修得コース (募集人数2名)	麻酔・集中治療一般コース	各種血液浄化法を中心に全身管理を指導医のもとに研修。(大学病院) 4年目終了時点で麻酔科標榜医および日本麻酔科学会認定医 6年目: 日本麻酔科学会専門医試験受験および日本集中治療医学会専門医試験受験、日本急性血液浄化学会専門医	専攻研修 (大学病院) 日本麻酔科学会専門医資格取得および日本集中治療医学会専門医 日本急性血液浄化学会専門医							同上	①一般的な(麻酔)集中治療管理に加え、各種血液浄化法やV-V ECMO(Extracorporeal membrane oxygenation)およびV-A ECMOなどの体外循環管理に重点を置いた研修を行う。日本急性血液浄化学会認定医、麻酔および集中治療の専門医の資格を取得する。 ②OHF、SHEDD-FA(長時間間歇的高効率血液浄化法)、PMX-DHP、血漿交換を始めとした各種血液浄化法、V-V ECMOやV-A ECMOなどの適応と管理に重点をおいた研修を行うとともに、一般的な手術麻酔、集中治療を総合的に行う。当講座は日本呼吸療法学会と集中治療医学会合同のECMOプロジェクトに参加しており、多彩なECMO症例を経験可能である。また、臨床のみならず臨床研究も積極的に行うことができる。論文による学位取得も可能である。専門医取得後には希望により留学が可能である。 ③定員外助手・助教、学位取得者は助教・講師(ともに定員外含む) ④海外: ハーバード大学、トロント大学、カリフォルニア大学など ⑤国内: 山梨大学救急・集中治療医学講座、東京医科大学八王子医療センターなど ⑥日本急性血液浄化学会認定指導医、麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医、同専門医、同指導医、日本集中治療医学会専門医、日本化学療法医学会抗菌化学療法認定医・指導医、ICD制度協議会認定ICD ⑦連絡先: 同上
麻酔科	Ⅲ-0309	感染症・集中治療修得コース (募集人数2名)	麻酔・集中治療一般コース	各種血液浄化法を中心に全身管理を指導医のもとに研修。(大学病院) 3年目以降: 抗菌化学療法認定医 4年目終了時点で麻酔科標榜医および日本麻酔科学会認定医 6年目: 日本麻酔科学会専門医試験受験および日本集中治療医学会専門医試験受験、日本化学療法医学会 抗菌化学療法指導医試験受験、ICD	専攻研修 (大学病院) 日本麻酔科学会専門医資格取得および日本集中治療医学会専門医 日本化学療法医学会 抗菌化学療法指導医 ICD							同上	①手術麻酔および集中治療を総合的にを行い、加えて各種感染症診療や抗菌薬適正使用について重点的に研修する。抗菌薬適正使用に関する認定医、麻酔および集中治療の専門医の資格を取得する。 ②集中治療の中で重要な役割を占める感染症に関して、グラム染色を用いた迅速診断および抗菌薬の適正使用に重点をおいた研修を行うとともに、一般的な手術麻酔、集中治療を総合的に行う。日本版感染症診療ガイドライン作成委員である西田および、大学病院のIGTメンバーでもある山下が中心となって指導する。集中治療専門医に加えて、日本化学療法医学会抗菌化学療法認定医、同指導医、ICD(Infection control doctor)の資格を取得することができる。また、臨床研究も積極的に行うことができる。論文による学位取得も可能である。専門医取得後には希望により留学が可能である。 ③定員外助手・助教、学位取得者は助教・講師(ともに定員外含む) ④海外: ハーバード大学、トロント大学など ⑤国内: 山梨大学救急・集中治療医学講座、東京医科大学八王子医療センターなど ⑥日本化学療法医学会抗菌化学療法認定医、同指導医、ICD、麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医、同専門医、同指導医、日本集中治療医学会専門医 ⑦連絡先: 同上

卒業
4年目以降